

桜前線も三寒四温？

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月04日

今年の春の選抜高等学校野球大会は決勝を残すのみ。多くの強打者が活躍したそうです。桜のトップバッターは、東京・靖国神社の標本木に5輪開花した3月21日でした。今日は3月30日、天気はポカポカ陽気の晴れ。10日間でどのくらい桜が開花したか、ご近所を散歩してみました。午前中はどの樹も1～2分咲き。本日の最高気温は17℃。ところが、明後日4月1日土曜日はまたまた寒波と雨で最高気温が8℃まで上がるかわからないとの天気予報。でも、4月2日日曜日はまた、暖かさが戻ってくるそうです。

<八潮・かもめ橋>



<品川シーサイド駅>



<東品川・くじら橋>



<八潮・京浜運河緑道>

<八潮コミュニティセンター>



八潮コミュニティセンターにピンク色の鮮やかな花が咲いていました。桜ではなく「あんず」。樹や花の種類をたくさん知っているとおもしろいかもしれませんね。ともあれ、美しいものを愛でられる日本の四季に感謝。最後に、最近京浜運河や目黒川を往来しているお花見船とかもめ橋を撮ってみました。見頃は来週かなあ。

平成29年3月30日
環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月04日

「吊るし飾りの会」作品発表会

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月04日

西中三丁目町会有志（12人）は、古い着物生地を再利用することで、余暇を生かし、又楽しみながら自由な発想で、手芸吊るし飾り、カラフルな人形、造花等の制作を行っています。この度、各人がコツコツと二年間に制作した作品、吊るし飾りを集めた作品の発表会を3月11日、12日の二日間、地元の第四地域センター行いました。今年で二回目です。

展示会の通知を町会の掲示板やパンフレットで行いました。見学に約250名と多くの方のご来訪を頂き、お陰様で多くの方々との有意義なふれあいが出来ました。来訪の皆様からは、それぞれの作品布地の配色が良い、丁寧に細かな気配りがされているとお褒めの評価を頂きました。また、作品それぞれにテーマ名をつけたら如何とのご提案も頂きました。

多くの方々から来年もこの展示会を開催して欲しいとしたご意見を頂きました。お互いに又お会いする日を楽しみとして展示会を終了致しました。

「吊るし飾りの会」代表の高橋静子様からいただいた情報です



平成29年3月17日

環境記者 中西義治

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月04日

東京都環境白書2016

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月04日

久しぶりに図書館へ行きました。新刊書の棚を覗いていたら、「東京都環境白書2016」なる本が目につきました。環境記者となって、3年目に入ろうとしています。これを機会に勉強してみようかなあ、という気持ちでA4版6mmの厚さの小冊子を借りることにしました。

副題は、「東京都の環境と現状と対策」。東京が目指す将来像は、「世界一の環境先進都市・東京」の実現で、目標年次は2020年/2030年。政策の柱は

- ①スマートエネルギー都市の実現
- ②3R適正処理の促進と「持続可能な資源利用」の推進
- ③自然豊かで多様な生きものと共生できる都市環境の継承
- ④快適な大気環境、良質な土壌と水循環の確保
- ⑤環境施策の横断的・総合的な取り組み

こままでが118ページ。この後資料編としてデータや窓口などが載っています。

①スマートエネルギー都市の実現

影響が大きい事業者向けの話題が多い中、家庭部門への対策として①家庭におけるエネルギー利用の高度化促進事業（消費量の削減と非常時の自立性の向上目的に蓄電池システムや太陽熱利用システムなどの導入補助②企業・団体との連携による「家庭の省エネアドバイザー制度」の実施（省エネラベルキャンペーンやセミナー・勉強会への講師派遣等）が挙げられていました。（P12-13）

ちょっと目を引いたものは、太陽熱利用システムにバルコニー設置型の写真が載っていました。太陽光パネルは屋上や屋根だけでなく、バルコニーにも設置できるようです。（P26）

②3R適正処理の促進と「持続可能な資源利用」の推進

一般廃棄物の処理の流れは品川区から配布されるリーフレットでおなじみですが、最終処分として23区は埋立処分場へ、リサイクルするものとして焼却灰はスラグ・セメント原料、鉄・アルミなどは地金にして再利用されます。（P35）

資源ロス削減の促進の項では、食品廃棄物対策として「食べきりげんまんプロジェクト」やフードバンク（賞味期限が近い等品質は問題ないが販売困難な食品食材の福祉施設等への無償提供）の普及啓発活動を実施しています。また、使い捨て型ライフスタイルの見直しとして「容器包装ダイエット宣言」等で容器包装廃棄物の削減にも取り組んでいます。レジ袋の有料化はこの具体例。（P40-41）

⑤環境施策の横断的・総合的な取り組み

③と④はさらっと流して国際社会との連携の項でJR品川車両基地跡地の俯瞰図が載っていました。日本で初めて2016年「クライメット・ポジティブ開発プログラム」に参加。このプログラムは「世界大都市気候先導グループ（C40）」が推進している温室効果ガスの排出ゼロ以下を目指す認証制度。構想—詳細—建設—開発終了の全段階で認証を受ける必要があるらしい。（P105）

資料編

一般廃棄物の排出量の推移では2004年の534万トンに対して2014年は450万トン。84万トン減少。不燃ゴミが53万トン減少している。最終処分量の推移は2004年79万トンに対して2014年は35万トン。44万トンの減少。産業廃棄物はこれに含まれていません。（P122-123）

品川区の地名が多く見られるデータは「東京都内における新幹線騒音の調査結果2014年度・東海道新幹線」と「東京都内における航空機騒音の調査結果2014年度・東京国際空港」。騒音に係る環境基準も次のページに示されています。（P131-133）

最後に、資料編のデータは2014年が最新でしたが、今年は2017年。まずは知ること、関心を持つこと、自分の出来ることからやってみること、発信することで、未来に美しい環境・豊かな環境を残していきたい、と強く思いました。

<参考図書>

東京都環境白書 2016

編集発行：2016年11月東京都環境局総務部環境政策課

環境局ホームページ：<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/>

平成29年3月30日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月04日

八つ山公園の桜

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2017年04月04日

桜の開花宣言からもう3月末になりました。31日朝、通勤途中の八つ山公園で撮影しました。まだ3分咲、でも、花見の準備は力が入っています。



朝8時頃、場所取りしている人に、「公共の場所です、今から場所取りするのは遠慮ください。」とやさしく話している様子です。毎朝清掃をして綺麗になっている公園なのに台無しです。



平成29年3月31日

環境記者 小野文義

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2017年04月04日

星薬科大学前と京陽公園の桜

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月04日

入学式を控えている星薬科大学前の桜並木風景と、近くの保育園児と幼児・子ども・大人たちでいつも賑わっている京陽公園にあるたった一本の桜の古木の幹に咲く桜の写真を撮りました。

共に2部咲きくらいでした。

満開になるのが待ち遠しい平和な日々です。



星薬科大学前の桜並木風景



京陽公園

平成29年3月31日

志賀 勝（記者NO.060110）

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月04日

わが町豊町四丁目の開花

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月05日

3月22日11:15am、いま私が見ている桜の木です。東京の標本木である靖国神社の桜は昨日（3月21日）に開花しましたが、この木ではまだ蕾です（*1）。

5〜6輪咲くと開花したというそうです。

はじめに見ていた枝先には開花した桜はなかったのですが、なんと足元に見られるではありませんか（*2）。樹齢は判りません。

キノコサルの腰掛けでしょうか。（*3）

思わず通りすがりの方に、つい声を掛けてしまいました。

風もあり体感温度はかなり低いけれど、気温は10℃くらいかなあ。

太陽の光りと青空に挨拶しているんですね。

今年から勝手に私の標準木として、見守りたいと思います。



平成29年3月23日

環境記者 関根輝彦

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月05日

しながわ区民公園【桜だより】

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月07日

開花宣言から2週間あまりやっとお花見シーズン到来！
4月5日のしながわ区民公園の標本木も満開ですね！



しながわ区民公園に約400本の桜があり、桜の広場に160本あるそうです。



朝10時頃でしたが、シートと椅子で場所取りされていました。お昼は花見の昼食会ですかね？想像しました・・・「花よりだんご」は定番ですね。



標本木は青空に映えて絵になりますね。日当たりなどでまだ4部咲きの木もあります。今しばらくは桜花を楽しめそうです。



幹からも花が咲き元気いっぱい「ソメイヨシノ」です。

平成29年4月5日
環境記者 真壁美枝子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月07日

「花交差点の仲間たち」活動

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月10日

日時：平成29年4月2日（日）9時～10時 参加者：31名

数日間真冬の寒さが続き「ソメイヨシノ」の満開宣言は足踏みしたが、やっと満開！花の見ごろがやってきました。

そんな中31名参加、大森海岸駅前歩道橋～しながわ区民公園入口までの花壇整備と歩道橋清掃を行いました。



平成29年4月2日

環境記者 真壁美枝子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月10日

「マイガーデン南大井」で農作業

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月10日

4月3日（月）品川区の「マイガーデン南大井」の桜がほぼ満開になりました！品川区が募集していた「マイガーデン南大井（区民農園）」に応募し、当選してしまいました。約30区画の募集に対し「3倍の競争率」だったそうです。

3月25日（土）南大井町文化センターで開かれた野菜づくり説明会に出席し、そこで流されたビデオには驚きました。やはり貸農園で野菜作りをされている農業講師の1年間の栽培と収穫を記録したものでしたが、混植、収穫量が半端じゃないということです。葉物、根菜などを隙間ないほど植え、次から次へと収穫してまた植える、また種をまく。。。。本当に驚き、感動しました。ここまでいけないとしても、いろんなものを植え、たくさん収穫したいと思っています。

貸し農園も半分近くが耕されて「マルチ」（ビニールシート）が掛けられ、春の訪れを感じさせてくれました。「マルチ」は前述のビデオにも紹介されていますが、畑の土の水分蒸発や雨水などによるたい肥の流出を防ぎ、保温効果も期待できるようです。マルチをかけておくと、1年間畑を耕す必要も、水をかける必要もないそうです。たまに液肥を散布するだけで見事な野菜が育つようです。なお、苗を植えたり種をまいたりするのは、マルチに開けた穴から行います。黒いマルチの上には、夏に向け虫よけネットが掛けられます。



平成29年4月5日

環境記者 伊藤 仁

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月10日

ごみの花が咲いていました

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月10日

2017年4月6日（木）午前8時、八ツ山公園の桜が満開となっております。
朝の通勤途中、花の階段（インターシティから続く歩道橋）を下りて会社に向かう。
桜の花が気持ち良い朝を演出してくれている。



そんなせっかくの良い気分を心ない行為が台無しにしています。

下の写真を見てわかりますか、公園に散らばるゴミ、左奥にはブルーシート、昨夜花見をした人がゴミの花を咲かせました。



平成29年4月7日
環境記者 小野文義

カテゴリ: 平成29年度

投稿日: 2017年04月10日

八潮団地の桜

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月12日

気象庁は4月2日、ソメイヨシノが満開になったと発表しましたが、八潮団地内の桜はまだ二分咲くらいでした。そして、4・5日と暖かなお天気が続き、待望の満開を期待したのですが、咲き揃わなかった今年の桜・桜・桜でしたね。

4月10日 花曇りでしたが、緑道公園から八潮団地内を歩いてみました。

昨晚の菜種梅雨に打たれながらも、満開を思わせるほどしっかりとボンボリのように、枝いっぱいに咲いていてく



れていました。

淡いピンクに色づいた花を愛でる事が出来、ほのかな春を満喫しました。

平成29年4月11日

環境記者 石田雅子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月12日

平成29年 品川区のさくら（大森駅周辺）

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月13日

4月7日（金）、午後より太陽が覗く様になり、近隣のさくらの様子を伺って参りました。今週は暖かい日が続いたからだと思いますが、殆どの木が満開になっておりました。



- 場所：大森ヘルポートビル前の道路（桜街道沿い）
- ひとつ：道路より一段奥に入っており、ビルを削るように植わっているのが印象的です。昔からあるのですかね～。
- 開花状況：満開



- 場所：水神公園
- ひとつ：桜の下で空を見上げてボーッとしたいですね。
- 開花状況：満開



- 場所：水神公園から見た道路
- ひとつ：どこまでもさくら並木が続きそうです。
- 開花状況：満開



- 場所:大森貝塚遺跡庭園
- ひとこと:大きな木でした。
(電車からも綺麗にみえそうですよ。)
- 開花状況:満開



- 場所:大森貝塚遺跡庭園
- ひとこと:花の蜜を吸いに来たのでしょうか?
- 開花状況:満開



- 場所:品川区立大井第一小学校
- ひとこと:新入生の気持ちを盛り上げてくれそうですね。
- 開花状況:満開



- 場所:大森駅前住宅
- ひとこと:マンションの谷間で日陰でしたが、満開で綺麗でした。
- 開花状況:満開

4月18日(火) 桜新道(大森ヘルポート前)の八重桜が満開になりました。
ソメイヨシノの時期が過ぎた後、もう一度きれいな桜を見せてくれていました。



- 場所:大森ヘルポートビル前の桜街道
- ひとつ:少し遅れて八重桜が満開です。花のボリュームがあつて見ごたえありました。
- 開花状況:満開



平成29年4月10日
環境記者 都甲 光洋

カテゴリ:平成29年度

投稿日:2017年04月13日

青物横丁 街路樹の中の桜の木

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月19日

道路街路樹に並ぶ1本だけの桜が満開になりました。



場所は京急線青物横丁駅そばの商店街、

何故か道路際のポプラ並木の中に桜の木が1本だけ植えられていますが、毎年きれいに咲いてくれます。

通勤、通学の時間帯には多くの人が満開の桜の下を歩いて行きます。

平成29年4月10日

環境記者 青野 良平

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月19日

聖蹟公園清掃美化

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月25日

私が勤務する東京サラヤ本社の玄関を出て、山手通りを西へ200mほど行ったところにある聖蹟公園で、2017年4月21日（金）8：30から園内の清掃を行いました。毎月1回の活動です。参加者は当番制で6名参加しました。



写真左は社内より有志を募って花を植えて管理している花壇と右は公園内の様子です。



ベンチ横の灰皿の下に数十本のタバコが捨てられていました。灰皿の口が入れづらいのか・・・？煙が出ていたので水をかけてから拾いました。以下、参加者の活動の様子。



ゴミ拾い、主にたばこの吸い殻、空き缶や紙くずなどを拾いました。



枯れ葉などは掃いて回収しました。



遊具類の確認をしてごみを回収したあと全員で撮影、お疲れ様でした。

感想

ベンチのそばに灰皿があるせいか、タバコのゴミが散らばっていました。喫煙しない方もこの公園を使うことを少しばかり気にしていただけたらなあ・・・これ以外は綺麗な公園でした。

平成29年4月21日

環境記者 小野文義

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2017年04月25日

農作業のゴールデンウィーク

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年05月11日

5月6日（土）、7日（日）、福島県の農場に行ってきました。山桜がやっと六分咲きといったところでした。6日（土）に畑に鶏糞と有機石灰を撒き、耕耘して畝づくりをしました。雨という予報でしたが、幸い曇りで、作業ははかどりました。夕方になって雨となりましたが、夜半には止みました。

7日（日）は快晴で絶好の農作業日和となり、畝に夏野菜の苗を植え、遅霜除けをしました。

植えたのは、キュウリ、ミニトマト、トマト、ナス、ピーマン、ズッキーニ、空豆、絹ズヤ、ツルムラサキです。他にもカボチャやインゲン、枝豆、トウモロコシなどを種から育成中です。また、シイタケのほだ木（シイタケの種駒を打った木のこと。それを並べて発生したシイタケを採る場所をほだ場と言います）を日照から守るためのネットをかけてきました。

写真は、山桜と畑、ほだ場の様子です。



平成29年5月8日

環境記者 新居崎 邦明

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年05月11日

鮮やかな緑よ・明るい緑よ 美しい新緑を求めて・・・・・・・・

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年05月11日

木々の可愛い芽吹きが始まったのは、ちょうど桜の花が終わる頃でした。



5月4日『緑の日』爽やかな青空・皐月の風に誘われ、団地内を歩いてみました。びっくりでした。

たった、20日位しか過ぎていないのに、まだまだ可愛い葉っぱと想着ていたら、木々の枝には新緑どころか、緑が増していました。



あんなに妖艶に私達を楽しませてくれた桜の枝もすべて葉桜になり、日陰を作ってくれていました。



暦の上では『立夏』も過ぎ、木々達も自然の営みに揉まれながら成長を続ける事でしょう。栄養を蓄え、秋の紅葉もまた楽しみです。

平成29年5月9日

環境記者 石田雅子

カテゴリ: 平成29年度

投稿日: 2017年05月11日

レンゲソウがきれいです

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年05月17日

大崎ゆうゆうプラザで昨年9月21日、西品川保育園の園児さん50人と高齢者クラブ、地域の利用者みなさんとレンゲの種蒔きをしました。園児が種を蒔き、高齢者が土をかける係りでした。

今年の4月になり、待ちに待った花が咲きました。若い方には珍しく、高齢者には懐かしい花です。

この種は生協で購入した秋蒔きの種で、冬には芽が出ず心配しましたが、最近芽が出てあっという間に咲いた花ですが、今は枯れ始めています。故郷の休耕田いっぱいのレンゲの花を思い出しています。枯れると田圃の肥やしになるんですね。

大崎ゆうゆうプラザのレンゲソウです。



児童センターの児童が描いてくれた種まきの絵です。



平成29年5月11日

環境記者 高塚 純江

カテゴリ: 平成29年度

投稿日: 2017年05月17日

聖蹟公園の花壇の花を植替えました

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月06日

私が勤務する東京サラヤ(株)の社会貢献への取組として、品川区の「みどりと花のボランティア」活動に参加していますが、5月19日（金）、聖蹟公園花壇の花の植替えを行いました。
この活動は有志を募り、「品川フラワーレンジャー」という活動名で行っているもので、今回は3名が参加しました。

▼品川区から借りている聖蹟公園花壇です。草花を植替えるため土を耕しました。



▼この日は気温26℃晴れ、少し暑い中、210株ほどの草花を休みなく植えていきました。



▼約1時間で植替え完了。冬から夏の花に綺麗に変わりました。



●感想

綺麗な花を植えることで、公園を利用される方も気持ち良く感じていただけたらと思います。
久しぶりの土いじり、暑い中でしたが気分リフレッシュ、公園の景観もUPで満足です。

平成29年5月31日

環境記者 小野文義

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2017年06月06日

「花交差点の仲間たち」花壇の植替え

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月16日

日時：平成29年6月11日（日）9時～10時 参加者：50名

梅雨入りして雨の心配もありましたが、天気にも恵まれ植替え日和となりました。

場所は南大井2丁目大森海岸駅前のマンション7棟で、歩道花壇の植え替えです。

一週間前に行った地拵えで土はふかふか、レイアウトなど事前準備もあり、植え替えがスムーズに、いつもながら早い時間で終わることができました。

花苗は初デビュー「ジニア・プロフュージョン」と「ペンタス・サルビア・メランポジューム・マリーゴールド・ニチニチソウ」を植えました。



「ジニア・プロフュージョン」



植替え手順を説明しスタート！



可愛い花壇ができました。マンション毎にレイアウトや花の種類がちがい、他の花壇と見比べるのも楽しいですよ(^.^)♪



秋の植替えまで、日常の管理（枯れた花摘み、水やり、雑草駆除）を継続します。

平成29年 6月11日

環境記者 真壁美枝子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月16日

戸越銀座駅舎裏の「ロマンチック・プチ・ロード」に「ECOプランター」を設置

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月16日

6月10日（土）、私が会長を務める平塚二丁目町会のメンバーが、戸越銀座駅舎裏にECOプランター（町会管理）を設置しました。写真の通路を「ロマンチック・プチ・ロード」と名づけ、花苗75株が歩行者をお迎えしています。ここに至るまでに近隣説明会を行い、ECOプランターの管理は町会の花と緑の部が担当、さらに隣接する店舗と地域のボランティアの協力を得てスタートしました。

ECOプランターの設置については、東急電鉄（株）と平塚二丁目町会とが土地利用に関する確認書を交換し、実施する運びになりました。通勤通学の方々を含め通行する方々に、優しく見守っていただけたらと願っております。

集合写真には、作業のお手伝いをいただいた東急電鉄（株）職員の方も一緒に写っております。



平成29年6月12日

環境記者 志賀 勝

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月16日

「緑のカーテンを作らしよう」講座を受講しました。そして・・・

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月30日

4月30日（日）に品川区環境情報活動センターで「緑のカーテンを作らしよう」講座に参加しました。受講の目的は「昨年緑のカーテン大失敗。だから、今年こそは成功の秘訣を学ぼう！」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/kouza/?p=2227>

当日、ゴーヤ3粒・朝顔3粒・ひょうたん3粒をプラスチック苗床に、ゴーヤ3粒を再生可能苗床に、そしてさらにおまけのゴーヤ3粒を自宅へ持ち帰り手持ちのプランターに植えました。

二週間後（5月15日）プランターにもやしの豆発見。あれっ、どこかから飛んできたのかなあ????

三週間後（5月25日）プランターのもやしが双葉をつけました。その形は**ゴーヤ**

そういえば、先生がおっしゃっていました。三週間で朝顔が芽を出した、そうです。我が家の苗床の子たちは一向に芽を出す気配がありません。ということで、プランターのゴーヤを中心に写真をパチリ。



待てど暮らせど他の子たちは芽を出しません。先のゴーヤ君はツルを伸ばし始めたのでネットを準備。しっかりネットを掴んで挨拶をしてくれたところでパチリ。これは6月11日六週間目です。



七週間後（6月19日）葉9枚ツル5本。他の仲間たちはプランターの土として寂しがり屋のゴーヤ君とともに生きることになりました。



さて、今月は環境月間だそうです。図書館では、様々な環境・特に八潮図書館では「エコ」に関する本が紹介されていました。そこで見つけた昭和のエコロジイ代表として「ヘチマ」が挙げられていました。その本（*）からちょっと抜粋。

（*）「昭和に学ぶエコ生活—日本らしさにヒントを探る」（pg6-17）

著者：市橋芳則 発行所：河出書房新社

昭和の暮らしの達人は「二度使いどころか三度は使う」「端っこまで使い切る」「身近にあるものを資源化する」「暮らしとは工夫そのものだった」「もったいないがしみついていた」そうです。ヘチマは漢字で「糸瓜」。形状と繊維質を表しています。内部に繊維のみを残すと「ヘチマタワシ」。蔓を切って一升瓶に差し込んでおくと「ヘチマ水」。サポニン・ペクチン・タンパク質・糖分を含み、保湿効果がある化粧水です。また、夏の日焼けやあせも、冬のひびやあかぎれ、咳止めのうがい薬としても用いられていたそうです。そして、もちろんヘチマ棚は日よけとしても利用されていました。豆知識—俳人・歌人である正岡子規は辞世の句として下記を詠んだそうです。

『糸瓜咲て 痰のつまりし 仏かな』

平成29年6月20日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月30日

折り紙教室と七夕飾り！

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月05日

日時：7月1日（土）10時～12時

場所：南大井2丁目 ライオンズマンション大森 エントランス前

主催：「花交差点の仲間たち」

【折り紙】

昨年からはじめた折り紙教室、好評だったので今年も開催です！

折り紙は誰もが大好きみたい！（^^♪

広告チラシで持ち帰り用箱、紙鉄砲、紙飛行機、色紙で熱帯魚、星などを作りました。

今年は開催日が土曜日で、子どもたちは登校日にあたり、4歳以下の幼児が対象となりました。周りの大人に手伝ってもらい、何とか形になりました。



「紙飛行機飛ばし会」盛り上がりました！！
自分で作った紙飛行機を飛ばして大はしゃぎです(^◇^)

【七夕飾り】

しながわ区民公園から笹竹を頂戴し飾り付けました。

2011年の東日本大震災から初めて7年目になります。

新作の「扇つづり」を楽しみながらの七夕飾り作成です。200枚あまりの短冊を設置、7月8日の片付けまでに、子

どもたちの微笑ましい夢いっぱい願い事が楽しめそうです。



平成29年7月1日撮影

環境記者 眞壁美枝子

カテゴリ: 平成29年度

投稿日: 2017年07月05日

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月10日

長年継続してきた京浜運河の定点観察を止めました、自然に出来た運河内の砂浜に対して規制が厳しくなったためです、42年間と少しの間でしたが東京湾奥への太平洋のチカラを感じ、それに伴って生き物の生息状況が変化しているのを感じ始めました。自然のチカラをまざまざと垣間見た気がします。

あと17年観察を続けられれば確実な結論が出せるのですが、時代の流れには逆らう事は出来ないのかも知れません。

三浦半島、房総半島と関東地方でも温暖化の影響が進んで来ているのが見られ始めていますので、これからは貝の趣味と共に温暖化の状況を見ていきたいと思っています。

工作上、ゴミにも注目していますが、結構、資源ゴミが可燃ゴミに混ざって

捨てられています。各家庭から出る量は少量でも、すべてを合わせればすごい量になると思い温暖化に影響しているのではと感じています。

クレハガイとユキミノガイは、運河で観察された貝の中でとても印象に残っています。



クレハガイ

運河の環境変化を教えてくれて
指標となった貝です。



ユキミノガイ

まさか運河の中で出会うとは
思ってもみなかった貝です。

平成29年7月5日

環境記者 青野 良平

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月10日

環境という面から見た夏の町のイベント

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月11日

7月7日（金）七夕祭りと9月9日（土）祭礼の御酒所作り

町会では、毎年、願いを書いた短冊を吊るす竹、そして祭礼の御酒所に飾る竹ともども、町会内に生えている竹を提供していただいております。

ご家族も、七夕祭りやお祭りに使ってもらえるということで、真っ直ぐな良い竹を喜んで育てていただいております。孟宗竹の映えている家は、年々少なくなっているようですが、当地域では、頑張っ育てていただいで、地域のみんが喜んでます。尚、当初より短冊を吊るす紐は、棕櫚の葉を裂いてこよりの代わりにしています。金属類やプラスチック材は使用していません。色紙だけです。



2016年七夕祭りの様子

7月8日（土）ぼんぼん廻り（戸越銀座商栄会主催）

構想段階ではローソク、豆電球を使う予定でしたが、LED電球に替えています。地元の人たちによる手書きの絵を貼った300基のぼんぼん（行燈）が、約3時間の間、電灯や照明を消した商店街に並べられ、幽玄な世界が広がり、浴衣を着たり、団扇を持ったりしたたくさんの方々が見て巡り、商店街に溢れでます。



2016年ぼんぼん廻りの様子

平成29年6月29日

環境記者 志賀 勝

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月11日

第33回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2017年07月28日

平成29年7月19日(水)に、第33回環境記者情報交換会を開催しました。今年度に入って初めての会合となります。



環境記者の皆さんに、地域や職場での美化活動など、日頃の活動の様子や、興味を持っていらっしゃる事柄についてご報告いただきました。

前回に引き続き、マンションの管理に関わっていらっしゃる記者さんから、マンションの共有部分の照明をLEDに替えた場合の費用対効果について、具体的に詳細を示して報告していただきました。LEDを取り入れての省エネ対策が顕著な効果を上げていることがわかりました。皆さんが興味を持っていらっしゃる話題で、質問も多く出ました。

「市民共同発電所」に関わっていらっしゃる記者さんのお話も興味深かったです。多くの方が太陽光発電に参画しやすいよう市民の立場から再生可能エネルギーを広げていく活動です。進行中のプロジェクトでは、パネルオーナー制を採っています。出資者は、ソーラーパネルを一枚単位で購入し、発電所に設置し、発電事業者に管理してもらうのです。屋根の上にパネルを付けられる方は限られますが、ソーラーパネル一枚から購入して参加できるのなら、間口は広がります。

農業体験も話題にあがりました。品川区の区民農園「マイガーデン南大井」での農業体験の感動、驚きを報告して下さった方、福島に農地を持ち農産物を作る傍ら、ご自身の農地を解放して事業化し、農業体験を提供することを検討している方、袖ヶ浦に2か所の太陽光発電所を運営し、近隣での農作業も楽しんでいる方、など、品川区で暮らす私たちにとって、農業体験は心躍るテーマなのでしょう。話が盛り上がりました。

消費者の立場から「東京都環境白書」を読んだという方もいらっしゃいます。「まずは知ること、関心を持つこと、自分に出来ることからやってみること、発信することで、未来に美しい環境、豊かな環境を残していきたい。」とのご意見に同感です。

他にも昭和のエコな生活のこと、緑のカーテンの生育観察、公園や街角で出会う自然の様子、など、今回も和気あいあいと和やかな雰囲気の中、様々な話題で盛り上がりました。環境情報活動センターのホームページに環境記者さんが投稿して下さった記事が掲載されています。よろしかったらご覧になってください。区民の皆さまにお気軽に環境記者活動に参加していただけたら幸いです。

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2017年07月28日

聖蹟公園清掃美化活動

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年08月09日

2017年7月31日（月）8：30、聖蹟公園の清掃美化活動を行いました。

月一回の取組、先月は雨で中止になり2カ月ぶりの活動です。

参加者は5名です。朝から30℃近い気温の中行いました。

各自ゴミ袋を持ってゴミ拾い、けっこう草むらに捨てたタバコの吸い殻が多く、となりは民家ですのでポイ捨てはやめていただきたいと思いました。

花壇の水やり、遊具類の簡易チェックをして終了。

朝から日差しが強く汗をかきながらの作業でしたが、会社朝礼に間に合うよう急いでもどりました。

■活動の様子



飯田部員



増子部員



工藤部員



齊藤係長

朝早くの作業ですが、10分程で汗だくに、今年は短い作業でも紫外線予防と熱中症にならないよう注意が必要です。

平成29年7月31日

環境記者 小野文義

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年08月09日

蝉しぐれの中を歩いて・・・

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年08月09日

梅雨明けと同時に聞こえ始めた蝉の声。ちゃんと季節を知ってるかのように

とても不思議な自然の営みを感じます。

八潮団地は桜の木をはじめ、大きな木々に緑の葉が生い茂り、こんもりとした森は蝉達の格好の棲み家なのでしょう・・・

ミン・ミン・ミン・ミン・ミン・ミンの鳴き声に誘われ、緑道公園を歩いてみました。小枝をわたる風も涼やかで、いろいろな蝉の鳴き声も聞こえ、ベンチに腰掛け、夏の暑さもしばし忘れ、こころ癒されるひと時を楽しみました。

蝉の声が聞こえるので木々を見上げ姿を探すのですが、なかなか見つける事ができません。やっと姿を探し、カメラを向けると、逃げられてしまう始末でしたが、辛抱強く頑張ってみました。



蝉の羽化した抜け殻が
3つ並んでいました。



にいにい蝉



あぶら蝉



みんな蝉

今日は7月最後の日、昼寝をしていた私は、ジージーとあぶら蝉の鳴き声に起こされました。

何処にいるんだろうと探しましたところ、ベランダのコンクリートの壁にとまっていた。我が家の訪問者なのかなあ・・・？



夏の風物詩と言う「蝉しぐれ」、貴方も楽しみませんか。

平成29年8月1日

環境記者 石田雅子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年08月09日

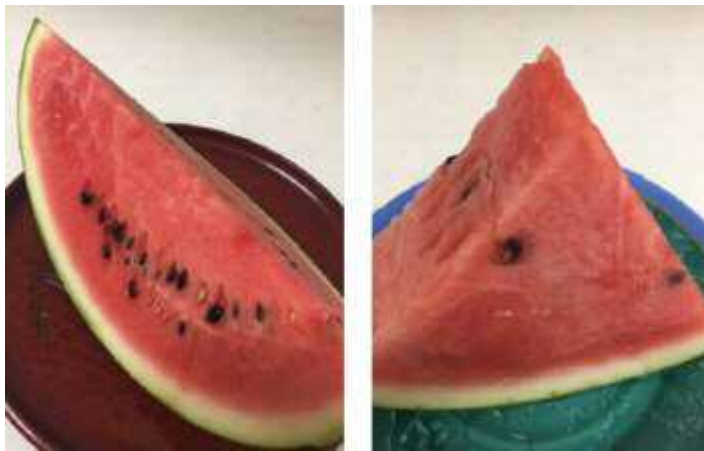
地球にやさしいスイカのレシピ

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年08月25日

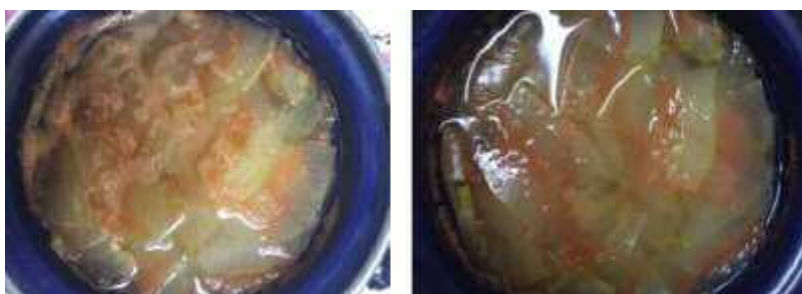
環境情報活動センター 8月の小学生対象講座に「地球にやさしい旬の料理をつくろう！」がありました。東京ガスが数年前から提唱している「エコクッキング」(<http://home.tokyo-gas.co.jp/shoku/ecocooking/>)は、お財布にも、時間にも、そして地球にもやさしい。数年前、「エコクッキング」コンテストに応募しましたが、あえなく落選。お盆休みを利用して挑戦してみることにしました。

今回の自分なりのテーマはスイカ。以前レポートに登場した書籍「昭和に学ぶエコ生活—日本らしさにヒントを探る」に掲載されていたスイカの皮のジャムと種のから炒りです。ただ、レシピはかなりざっくり。そこでマイレシピを追記しました。



<レシピ①—スイカの皮のジャム>

スイカを召し上がったあとの皮を、硬い外皮だけむきとり、白いところを薄く切って、水その分量の五、六倍も入れ、指でつまんで、つぶれるくらいやわらかく煮ましたら、ひと晩そのままにおいて、翌日そのスイカと同じ量の砂糖を加え、よく煮詰めます。スイカには、酸味がありませんから、レモン、夏ミカン、柚子、なんでも結構です。ちょっとしぼり込むと、おいしいジャムができます。



<レシピ②—スイカやカボチャの種の利用法>

よく実の入ったのは、乾かしておいて、油で炒めると、香ばしくて美味しいものです。



<マイレシピ③ースイカの皮のジャム>

材料：

白い皮の部分と同じくらいの赤い身のついたスイカ・・・1/6の半分

砂糖・・・大さじ1杯

シークワサー・・・直径2cm程度を1個

作り方：

1. スイカの皮と実は適当な大きさに切ってミキサーでシャーベット状にする。
2. 1に砂糖とシークワサーのしぼり汁半分を加えて火にかけ、アクを取りながらとろ火で約30分程度煮詰める。
3. 汁気がなくなり、トロトロになったらシークワサーのしぼり汁残り半分を加えて火を止める。
4. 煮沸消毒した瓶に3を入れて出来上がり☆



<感想>

レシピ①は、出来立ての味見でとても甘く感じました。昔のスイカは皮がもっと厚かったからかもしれません。ところが翌日冷たいものを食べたら、意外とその甘さがなんとも言えず、旨味に変わっていました。食感と味は桃の缶詰。

レシピ②は、・・・香ばしいだけで味はありません。でも、口寂しい時のおつまみやお浸しのトッピングには良いかもしれません。

レシピ③は、・・・①が甘すぎたかな、ということで砂糖控えめで色を鮮やかにしてみました。いま風のジャム。スイカの実の甘さとシークワサーの酸味が夏の味を上手に演出する味に仕上がりました。上記材料で手持ちのジャム瓶1本分。

今回購入したスイカ1/6切れから出たゴミは、緑色の硬い外皮だけ。それ以外は我が家の食後のデザートとモーニングジャムと三時のおやつになりました。楽しんでエコ、これなら長続きしそうです。

平成29年8月21日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年08月25日

聖蹟公園清掃美化活動（8月）

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年09月06日

東京サラヤ本社周辺地域の有益活動として毎月活動しています「聖蹟公園清掃美化活動」の様子を報告いたします。



実施日時 2017年8月30日（水）8：30－8：45

参加者 3名



活動内容

吸殻、空き缶等のゴミ拾い。

花壇周辺の清掃

園内遊具類の簡易チェック

花壇にお茶が入ったままのペットボトル、食べ物が入っていたらごみプラ容器など普段捨てられていないようなゴミがありました。朝8時台というのに気温は29度ありました。参加者全員たくさんの汗をかきながら作業をしていただきました。ご苦労様でした。

9月に入りましたら花壇に草花の植え替えをしたいと思います。

遊具類異常なし。

回収ゴミ量 2.6kg

平成29年8月30日

環境記者 小野文義

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年09月06日

こちら、亀さんのカーテン

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年09月06日

6月20日に「緑のカーテンを作しましょう」講座の第1回目の状況をご報告いたしました。

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=2968>

ところで同じ環境情報活動センターのサイトの「ECOトピックス」のコーナーの記事にある「緑のカーテン」記録をご覧になった方もいらっしゃるでしょう。あちらは7月上旬に実を収穫。ところがこちらはたった一粒だけ出た芽が同じ時期にやっと背を伸ばし始めました。「しながわECOだより」さんがウサギなら、こちらは亀さん。同じ教室から芽を出したもうひとつの成長記録をのんびりとお楽しみください。

我が家の一粒種『ゴーヤん』。雨の降らない東京の梅雨には夕方にたっぷりの水遣り、ジメジメ多湿な日は「頑張れ〜」と冷房効いた部屋の窓越しに大きな掛け声を。

7月10日グイグイと背を伸ばし始めた。

7月20日下の葉よりも大きくて元気な葉が出ている。あれ、成長の芽はどこ？



7月30日（種まきから3ヶ月後）胸のあたりまで背が伸び、葉は27枚。この10日間の成長は毎日5cm。葉の色つやもよく、茎を触るとゴーヤの香りがプーン。ここで初めての成長点カット。緑のカーテン大失敗の昨年

は、腰までの成長。やったあ！

ここをカットしました。
後ろの丸い葉はプランタ仲間の
朝顔です。



8月10日枝分かれ発見。



8月20日なんと目の高さまで成長。ベランダのフェンスを超えました。ここで二回目の成長点カット。雄花のつぼみが6、雌花はゼロ。



8月26日初開花。 8月30日（種まきから4か月後）私の背丈と並びました。依然として雌花ゼロ。雄花は5個目が開花。じっくりじっくり育てると、それなりに大きくなる。収穫まで育つのかはわかりませんが、来

年こそは緑のカーテンが望めそうな気配。お隣さんが「5-6年前は、育ったよお～」とのこと。お隣さんと原因をあれこれ検証したところ、無肥料・無農薬栽培が原因???それでも、緑のカーテントライ二年目は、来年の成功期待膨らむ嬉しいゴーヤン成長記録ができました。もし、幸運にも収穫できたら、ご報告しますね。

平成29年8月31日

環境記者 小滝静子

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2017年09月06日

ダンボールコンポスト始めました

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年09月13日

今年の夏、ダンボールコンポストを始めました。

ダンボールコンポストとは、家庭から出る生ゴミを「基材」の入ったダンボール箱の中に入れ混ぜると微生物が生ゴミを分解し、堆肥にしてくれるという、自然の力だけに頼った生ゴミ処理方法です。

ダンボールコンポスト開始初日の写真（7月24日撮影）

基材とは、もみ殻薫炭と土壌改良剤を混ぜたもので、園芸店で手に入れることができます。

その基材に、家庭から出た生ゴミを混ぜ、翌日時間を空けて中の様子を見てみると、生ゴミが分解されて殆ど消えているのです。

しかも、生ゴミの嫌な臭いもありません。

虫が来ないように、ダンボールに夫の肌着を被せて、袖口と首周りをヘアゴムで結んでいます。

底の部分はすのこなどを敷いて、通気性を良くします。



ベランダでやっているなので、簡単な雨対策としてレジャーシートをかけています。



微生物は高カロリーな食べ物が大好きです。

天ぷら油や肉、魚、米ぬかなど入れてあげると活発になり、基材の温度があがり、生ゴミの分解が早くなります。

天ぷら油を入れた翌日には、温度が52度まで上がり、驚きました。

微生物は生き物なので水分も空気も必要です。

乾いていたら水分を与え、毎日空気を入れるために混ぜてあげましょう。

まるでペットを飼っているかのような感覚で、愛着が湧きました。

ダンボールコンポストを始めて早一ヶ月、総重量なんと約9kgの生ゴミを微生物が分解してくれました。

ありがとう、微生物さん。おかげでゴミ出しの回数も減り、嫌いだった生ゴミが好きになりました。



今日の基材の様子

さつまいもの皮、レタス、玉ねぎの皮、トマトのヘタを入れました。

全くカサが増えませんが、生ゴミの殆どが水分なので蒸発されるのと、微生物が分解して増えないのだそうです。

心なしか、基材の色が黒っぽくなってきました。栄養が付いている証拠でしょうか。

3ヶ月間生ゴミを投入したら、その後1ヶ月の熟成期間を経て、堆肥の完成です。

出来上がった堆肥はプランター菜園で使用し、ほうれん草や小松菜を育ててみます。

自然のエネルギーだけで生ゴミを処理してくれるこの方法、より多くの家庭で取り入れられれば品川区内の全体のゴミの量が減って、温暖化防止に役立つのではないかと期待しています。

平成29年9月1日

環境記者 真田千加子

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2017年09月13日

「花交差点の仲間たち」活動（2017年9月）

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年10月03日

日時：平成29年9月9日（日）9時～10時 参加者：39名

久しぶりの気持ちの良い青空、秋晴れです！今回は鈴ヶ森中学校の7年生3名と引率の方がボランティアに参加、総勢39名で花壇整備と歩道清掃を行いました。事故もなく無事終わることができました。



若々しい仲間が加わると、先輩方も生き生き
していますね(^_-)-☆
花の手入れと同時に楽しい会話で仲間づくり
と思い出、できたかな..? (^^)♪



伸びきったシニア・プロフェーションの
剪定と枯れてしまった場所に花苗
を補充しました。植えた苗の成長
が楽しみです(^^)♪

※鈴ヶ森中学校生徒ボランティアに参加しての感想

* 引率の先生、地区委員より

鈴ヶ森中学校では、家庭、地域が連携をとり継続的な教育活動を行っています。

子どもたちは地域住民との交流が少なく、今回ボランティア参加にご理解いただき体験できたこと感謝しています。

これからもこのような交流を続けていきたいと思っています。

* 生徒たちの感想

- ・環境美化委員は一人でしたが、今回参加した3人と仲良くなれて良かった。
- ・初めての体験、たいへんだったが花の手入れが楽しかった。
- ・花壇整備の魅力など発見できた。

* 受入れ側感想

生徒たちが初めての体験を楽しんで参加してくれました。

地域の担い手となる若者が、積極的継続的に活動してくれることで、地域コミュニティの活性化にも繋がります。今後も継続して支援していきたいと思います。

平成29年9月27日 眞壁美枝子

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2017年10月03日

八潮にはバスで～車窓の秋

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年10月17日

秋分から寒露へ向かう頃は、ひと雨毎に晩夏から秋へと移り変わります。新潟の瓢湖には白鳥が飛来したそうです。八潮で秋を見つけました。それもバスの車窓から。

① 秋分初候「雷乃収声（かみなりすなわちこえをおさむ）」



夏に鳴り響いていた雷が静まり、秋へと移る頃。金木犀の芳香が漂ってきます。思わず、どこで咲いているのか探してしまうのは私だけでしょうか？(バス停：八潮南～大井消防署八潮出張所前)



② 秋分次項「蟄虫培戸（むしかくれてとをふさぐ）」

虫たちが冬ごもりの支度を始める頃。土手を彩る曼珠沙華（＝彼岸花）、今年ちょっと離れたところにも赤い一団がありました。自然の繁殖力は旺盛です。(バス停：明晴学園～品川総合福祉センター前)



③ 秋分末候「水始涸（みずはじめてかる）」

田んぼの水を抜き、稲刈りの準備をする頃。香川県から、はげかけ新米が届きました。そして、朝晩の冷え込みが増し、空気が澄み、夜空に浮かぶ月が美しくなると・・・

- ・ 中秋の名月（十五夜）は10月4日
- ・ 満月は10月6日
- ・ 十三夜は11月1日（十五夜を見た方はこちら是非！）



十三夜は「栗名月」「豆名月」とも呼ばれ、栗や枝豆を備え、十五夜は「芋名月」、里芋「きぬかつぎ」と穀物の収穫を感謝する「月見団子」を備えるのが一般的。そして、欠かせない脇役は「ススキ」。ところが八潮ではなかなか見つけられません。でも、大丈夫！八潮橋を渡った品川シーサイド側では簡単に見つけることができました。（バス停：都立八潮高校前～東京工科専門学校前）

平成29年10月5日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年10月17日

秋を見つけました

カテゴリ:平成 29 年度

投稿日:2017 年 11 月 08 日

今日は10月26日(木)、寒さ続きと台風21号が去り、22号が来るといつかの間の秋空、星薬科大学脇道に見つけました。幹回り約3mのヒマラヤスギの上から垂れ下がる「はぐろうり」の実。高くあって数えることが出来ませんが、20個以上実っていましたよ。その道には、「サイカチ」の木もあり、天然洗剤になる大きな豆の形の実が木になっていました。

一気に冬になるのかと冬物を着こんでいますが、すぐそばに秋を見つけました。

ヒマラヤスギに絡まっている「はぐろうり」(食用)

淡泊な味で、パリツとした食感が好まれ、酢の物や漬け物などにして食べる人が多いそうです。



「サイカチ」の木と実

実は天然洗剤になり、生薬で去痰薬、利尿薬として用いられるそうです。



平成 29 年 10 月 26 日

環境記者 志賀 勝

里の秋

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年11月10日

♪静かな 静かな 里の秋

お背戸（せど）に木の実の落ちる夜は

ああ母さんとただ二人 栗の実煮てます いろいろばた♪

十一月は旧暦表記では霜月、そして11月7日は暦の冬=立冬です。そろそろ霜がおり、冬ですよ！と言われても今日はとても暖かい一日でした。しかし、里にも確実に秋の深まりと冬の足音が聞こえてきます。

最初に里の秋を教えてくれたのは、東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパスの銀杏の木。東京臨海高速鉄道りんかい線品川シーサイド駅から徒歩3分、八潮団地へ渡る八潮橋のたもとに位置する同校には立派な銀杏並木がそびえています。そして、八潮橋側から順に色づき、次々と連鎖して来月初旬にはその並木の終点の鮫洲運転免許試験所側の交差点まで達します。整然と規則正しく、生きたグラデーション模様で私たちを楽しませてくれます。工事中の校舎のグレーの幕も彼らを讃える素敵な背景色に見えてくるのは私だけでしょうか！？



二番目は、東急大井町線荏原町駅徒歩2分の旗岡八幡神社の朱塗りの鳥居と彩りを競う桜やけやきの紅葉。早朝だったため、七五三詣での親子には出会えませんでした。きつとチビッ子たちの晴れ姿に華を添えてくれたことでしょう。



三番目は、前述品川シーサイド駅周辺のビル街で夕方見つけた雲の模様。羊が一匹、羊が二匹、羊が・・・。
そして、翌日の朝見た雲は昇り竜！秋の空は面白い世界ですね。



そして、最後はおまけ。八百屋さんで見つけた見事な葉っぱ付き人参3本。葉たちをみじん切りにし、じゃことともに炒め、酒大さじ1、味噌大さじ1、砂糖大さじ1を加えてさらに炒めてみました。新米のほっこり飯との相性抜群でした！！



平成29年11月7日
環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年11月10日

「花交差点の仲間たち」花壇の植替え

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年11月17日

日時：平成29年11月12日（日）9時～10時 参加者：88名

場所は南大井2丁目大森海岸駅前のマンション7棟前の歩道花壇の植え替えです。

北風が強く9時頃の気温12℃体感はもっと寒く感じる植栽日となりました。

今回は鈴ヶ森中学校の生徒30名が参加、生徒たちは7棟のマンションに分かれ、それぞれの皆さんと

一緒に植替えを行いました。若い男子女子の参加に、周りの大人たちはウキウキころなしか弾んでいたように感じました。一週間前に行った地拵え(じごしらえ)や事前準備、学生たちの手伝いもありいつもより早い時間で

終わることができました。

今回の花苗

- ① シクラメン
- ② マーガレット
- ③ パンジー
- ④ ノースポール
- ⑤ デージー
- ⑥ ピオラ



当日の事前準備

- ① 花壇に水やり
土がパサパサしていると
作業がやり難い
- ② レイアウト決め
ボランティア集合前に
予めレイアウト決め



強風でサインボードが飛ばされないよう、横にしての作業です。
小さなボランティアも応援参加！（^^♪



男子生徒も即戦力、頼もしい助人！ 短パン姿の女子生徒、若さを感じますね。





冬に向かいお花が少なくなる季節、花壇も華やかです！(^^♪

※植替え終了後、生徒の代表数人から感想をききました。

①生徒

- ・お花の植え方や水やりなどを教わった。奥が深いなあ～と感じた。
- ・今回植えた花たちはまだ小さいけれど、どのように育つか楽しみ
- ・たまに寄り道して花の育ち具合をみたい。

②引率の先生

生徒たちから町会の清掃活動をしたいとの自主的提案があり、学校地域コーディネーターから「花交差点の仲間たち」を紹介され、発足時は歩道に自転車が溢れていたことを知りました。継続して活動することで環境が保たれている大切さや地域の人たちとの交流を学ばせていただいています。

※きれいが当たり前ではなく、地域の人たちの活動で維持されていることを知ってもらう良い機会になっていると
思います。これからも先生方と相談しながら子どもたちの地域参加を応援していきます。

平成29年11月15日

真壁美枝子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年11月17日

最近街中でスタンド型灰皿を見かけますか

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年11月22日

最近街角では、スタンド型灰皿を見かけることが少なくなっています。

厚生労働省の「最新たばこ情報」によると、成人の喫煙率は男性で平均28.2%ですが、これは昭和41年の83.7%と比較すると50年間で55ポイント減少したことになります。一方女性では平均9.0%で、ピーク時（昭和41年）より漸減しているものの、ほぼ横ばいとのこと。

歩きたばこ禁止区域が増えたこともあり、街中の灰皿が不要になっていることも事実です。

平塚二丁目町会花と緑の部では、灰皿4基を植木鉢として活用し、道を通る老若男女に大変喜ばれておりますので紹介をさせていただきます。

今回は、常緑低木のエリカとガーデンシクラメンとビオラの3種類の寄せ植えで仕立てました。



平成29年11月17日

環境記者 志賀 勝

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年11月22日

樹木の冬支度

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年12月05日

晩秋のしながわ区民公園を散策しました。

樹木は、11月20日ごろの寒さと雨で木々の紅葉・黄葉が進みました。

（最低気温が8℃以下になると紅葉が始まり、5～6℃以下になるとぐっと進む）

落葉樹は葉を落とし、春の芽吹きに備えています。

「さくらの広場」

やきいもが出来るくらい落葉が木の周りにこんもり・・・！桜の葉はわずかに残っています。



「ぼうけん広場（キャンプ場）」

メタセコイヤは、紅葉の盛りは過ぎ半分くらい葉を落とし、細かい葉が絨毯のようです。



「勝島の海」周辺にあるイチョウ黄葉が見頃！



周辺は茶色一色ですが、黄葉のイチョウは12月上旬ごろまで楽しめると思います。

「勝島の海」・・・建物の7階から撮影 常緑樹の松も「こも巻」で冬支度！



桜の枝先をみると「冬芽」ができています。
冬芽は、来春に芽吹く葉・枝・花を収納し、冬の乾燥と寒さから芽を守っています。



【参考 冬芽図鑑より】 www.enyatotto.com/nature/pictures/fuyume/fuyume.htm

春、花の芽吹きが楽しみです！

平成29年11月26日

真壁美枝子

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2017年12月05日

オリンピックへの道

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年12月05日

♪もう、いくつ寝るとお正月♪そうなんです。我が家のカレンダーも残り一枚になってしまいました。ところでみなさんはあと何日寝るとオリンピックが始まるか知っていますか？気になった方は次の公式サイト（<https://tokyo2020.jp/jp/>）で確認してみてください。

さて、品川区ではオリンピックのうち二つの競技が開催されます。ホッケー会場となるのが大井ふ頭中央海浜公園。平成29年2月2日の「平成29年度品川区当初予算案・プレス発表資料」によると、会場周辺道路の環境整備が行われるそうです。

（<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000027500/hpg000027464.htm>）

- 1.無電柱化・・・競馬場通り他1路線
- 2.自転車推奨ルート整備・・・桜新道他1路線
- 3.道路標識多言語化整備・・・競馬場通り他

東京モノレール・大井競馬場前駅から競技場予定地までの区間は電柱があるのです。ところが、隣接する八潮団地は、なんと30年前から電柱がない。電柱を気にしないで写真を撮ってみました。

①赤い屋根の東京モノレール・大井競馬場前駅



②勝島橋から八潮団地へ



③八潮団地から京浜運河緑道公園へ



④ 道から視線を上へあげると・・・



いかがでしたか？道を撮っても、色づいた樹々にカメラを向けても電線を気にする必要がありません。よく観察すると、なるほど大井競馬場前駅から大井競馬場側の一部と勝島橋を渡って競技場予定地までの間には電柱がありました。しかし、それもオリンピックを機会になくなるということのようです。最後に勝島橋からの夜景をお届けします。小さいけれど左側には東京タワーが見えますよ。



平成29年11月28日
環境記者 小滝静子

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2017年12月05日

八潮団地の紅葉を求めて・・・

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年12月05日

八潮団地の紅葉は11月半ば頃から始まり、プラタナスの黄葉がとても綺麗でしたが、2～3日後に冷たい雨にたたかれ、色も変色し、枯葉となって散ってしまい、残念に思っていました。ところが、11月の終わり頃になって、「今年いつもの年より紅葉がとても綺麗だよ・・・」という声が聞こえ始め、私も早速、八潮地域センターの前から紅葉探しに出かけてみました。



八潮中通りの紅葉が見事です。



早く紅葉した桜の葉は散ってしまいましたが、まだまだ、紅葉・黄葉をたくさん楽しむ事が出来ました。特に「もみじ」の赤、「ブナ」の黄色は太陽に映え、紅葉の名所にも負けない位見事で、感動しました。



ぽかぽか陽気の昼下がり、カサカサカサと枯葉を踏み、小鳥の声を聞いたり、風に舞い落ちる枯葉を愛でながら、八潮団地の中を歩き、晩秋の小春日和を楽しみました。

平成29年11月29日

環境記者 石田雅子

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2017年12月05日

区民農園「マイガーデン南大井」での8か月

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年12月08日

実りの秋。区民農園の横で収穫祭（11月23日）が開かれました。例年、農園で栽培された野菜も出品されるようですが、今年は不作で見送られたそうです。

立会川駅近くにある区民農園「マイガーデン南大井」。4月から借りて8か月が過ぎました。この間いろんな野菜を育て、収穫することが出来ました。全32区画あり、1区画（10平方メートル）で使用料は22,000円（2018年2月まで）。

最初に説明会があり、指導員が1年間にわたる都内の貸農園での自分の体験をビデオで説明してくれたのがとても印象的でした。「とにかく混植、すき間なく植え、収穫した後にも間髪おかず、次から次へと野菜のタネや苗を植えましょう。マルチ（土を覆うビニールシート）をかけ、液肥を与えておくだけで、ドンドン育ちます」と話しました。区民農園では化学肥料を使用せず有機肥料が中心です。さっそく畑にぼかし肥料などを入れて耕し、3つの畝をつくりました。その上にマルチをかけ、指導員の教え通りすき間なく植えることにしました。



←桜が満開。マルチで覆われた畑
↓すき間がないほど植えてあります



1つの畝にかけられている
マルチの穴は約70個 ↓



1つ目の畝にはパクチーやホーリーバジル、枝豆、サニーレタス、ルッコラ、ケールなどの葉野菜を中心に、すき間なくギッシリ埋め尽くしました。

2つ目の畝には、ふるさと納税でもらったジャガイモ（メークインとインカのめざめ）と種類の違うトマトやキュウリ、ゴーヤ、ズッキーニ、サツマイモなどの苗、それにちょっと珍しいアスパラ、やパパイア（ベニテング）などです。

3つ目の畝には、キャベツや白菜、ニンジン、大根、バジル、青じそ、レタス類などのほか、小玉メロン、小玉スイカなども挑戦しました。

とにかく、指導員の言う通りギッシギッシの状態畑への作付けを完成しました。まわりの畑を見渡すと、かなり個性的です。その方の人柄が畑に出ているというか。植えた野菜の名前を書いてマルチの上に几帳面に貼っている人、大きな畝を2つぐらいしか作らず、野菜の苗を大胆に3~4本をド・ド〜んと植えただけの人、中には自分の腰ぐらいまでの深さまで土を掘り返す“天地返し”農法で本格的に取り組む人などなど、さまざまです。

しばらくして、畑のまわりの桜も満開になり、パクチーや大根、人参などがいっせいに芽を出し始めました。ゴールデンウィークごろになると、トマトやキュウリ、インカのめざめなどが花をつけ、どこの畑も青々と元気よく育っているようです。意外にも葉や莖を大きく伸ばすのがズッキーニでした。たった2~3本で畝を埋め尽くす勢い。しばらくしてサツマイモもあたりを埋め尽くさんばかりにどんどんツルを伸ばし始めました。

6月ごろには畑での初めての収穫が。白菜、サニーレタス、ルッコラ、パクチーなどの葉野菜類で、浅漬けやサラダなどにして美味しくいただきました。

夏に向けてはトマトやキュウリ、ナスなどの夏野菜が採れ始めました。大根や新ジャガなども採れ、食卓は夏野菜でいっぱい。他の畑でもトマトやキュウリ、ゴーヤなどが花をつけ、次から次へと実をつけていきます。意外だったのが枝豆。6本ほど植えた苗がすべて立派に実を付け、ビールのおいしいお供にさせていただきました。ある畑ではズッキーニが、子供の太ももほど大きくなっているのを見かけました。都合で収穫が遅れたのか。ズッキーニ

は大きくても美味しくいただくことができるとのことで、一安心。他に小玉スイカや小玉メロン、落花生なども収穫することができました。

↓ミニトマト

小玉メロン↓



↓白菜、キャベツなどの葉野菜がギッシリの畑

大根、ジャガイモ、ミニトマトなどの収穫↓



夏には雨が多く、台風の到来などもあり、あまり天気はよくありませんでした。畑によっては野菜のできにバラつきがあり、思うように収穫できなかったところもあったようです。追肥、間引きや摘芯、枝の整理、水やりなどの野菜栽培の知識や小まめな手入れが必要です。最初に指導員が言われたように、収穫後すぐに苗などを植えましたが、大きく葉をつける野菜の隣では日当たりや風通しがよくなく、思ったように育たなかったケースも見受けられました。混植などは野菜が大きくなったときの姿をイメージして作付けをする必要があるかもしれません。

9月に入ると夏野菜の収穫も終わり、畑をもう一度耕しなおし、秋野菜を植え始めるところが目立ってきます。春菊やチンゲン菜、キャベツ類、白菜類、大根など、年を越しての収穫が楽しみです。

4月からは新しい借り主さんによる、畑仕事が始まります。畑を耕す、種をまく、苗を育てる、花が咲く、実を収穫する……。この素晴らしい畑仕事体験の喜びを大いに楽しんでもらいたいですね。

平成29年11月23日

環境記者 伊藤 仁

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年12月08日

聖蹟公園花壇の花の植替え

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年12月20日

東京サラヤ(株)は社内では有志を募り、「品川フラワーレンジャー」（品川区みどりと花のボランティア活動に参加しているグループ）として環境活動に参加していますが、本日、聖蹟公園の一部花壇に花を植えました。

（2017年12月15日（金）14:00～15:00）

●草花を植える前に花壇の土を耕しました。葉ボタンやパンジーを植えています。



●花の配置は植える方の個性に任せています。



●まだつぼみの苗を植えました。1週間後には華やかになることを期待して終了。



最後に花壇に水をまき、周りを清掃したあとに記念撮影。お疲れ様でした。

平成29年12月15日

（環境記者）小野文義

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年12月20日

清掃パトロール（大井海岸町会）

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年02月02日

大井海岸町会の防犯部と婦人部共催で月に一度清掃活動を行っています。
町会の掲示板で参加を呼びかけています。



新年を迎え1回目の活動は1月28日（日）9時～10時

22日から居座る最強寒波の中での活動でしたが、13名が参加しました。
歩道脇には雪がまだ残っています。花壇は5cmほど伸びた霜柱がザクザク！



清掃活動は大井海岸町会管轄の南大井3丁目です。
コンビニエンスストアや飲食店が多くあります。
本来は持ち帰りのゴミが緑道の樹木の中に隠すように捨てられています。
停車中の車からポイ捨ても！悪質！

菓子の空袋、Tシャツ、缶、ペットボトル、吸い殻、傘、電池など様々です。



緑道内に不法投棄！

大量のゴミで緑道の笹が剥げた状態になっています。

品川区が立て看板を設置し、不法投棄禁止を呼びかけていますが、なかなかきれいになりません。

住民の意識を高めたいのですが・・・

この緑道の管轄は大田区、手前の歩道側から品川区です。

笹竹が剥げた場所に樹木を植えて従来の緑道にしてほしいのですが・・・

縦割り行政の不便さを感じます。



町会会館に戻り収集ゴミを選別しました

可燃物：2袋（70ℓ）、資源：1袋（40ℓ）金属ゴミ（カサ・電池など）



街が汚れてくるとゴミを捨てることに罪悪感がなくなり、周辺を気にすることなくポイ捨て！

一人ひとりが関心を持ち、ゴミを減らすことを心掛けて街をきれいになりたいですね。

平成30年1月28日

環境記者 真壁美枝子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年02月02日

なぜ、無電柱化？オリンピック開催都市の現状は？

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年02月18日

平昌冬季五輪が始まって早くも1週間が過ぎてしまいました。さて、昨年末に2020年の東京五輪に際して進められている大井埠頭中央海浜公園の無電柱化と30年前から電柱のない八潮団地を取り上げました。そして最近、偶然ラジオで下記の書籍の松原先生（現東京大学大学院教授）が無電柱化のことを話されている番組に出会いました。そこでみなさまにちょっと、知識をお裾分けさせてください。



写真は品川図書館近辺で撮影しました。空がたくさんの線で区切られています。それでも国土交通省道路局施策「無電柱化の推進」では平成25年度末の無電柱化率＝東京都が群を抜いて一番。ただし、23区ですら7%。海外はというとロンドン・パリは戦前から無電柱化率100%、ベルリン99%、ニューヨーク83%、アジア諸国はソウル46%、北京34%、台北95%でマニラやジャカルタなども高級住宅街や中心市街地を優先的に30～40%も進んでいます。

なぜ、ロンドンは100%か？日本とは少し事情が違う。19世紀末の街灯（ガス灯）は治安上暗く、ガス管は地中。市街地も古くからの建築物が立ち並んでいた。そのため、電氣化されても電柱を設置する十分なスペースがなく、感電防止という安全面からも地中線が採用された。

費用面で日本は他国に比べてケタ違いに高い。そもそも配電電圧が違う。高圧で日本6,600V、諸外国11,000～25,000V。低圧は日本100～200V、諸外国230～400V。変圧器は諸外国が100戸をカバーするところ日本は30戸。日本では広い地域へ配電するにはトランス（地上機器）がたくさん必要となる。もし、行政待ちにせず無電柱化を希望すると、要請者負担方式となる。大分の湯布院は地元商店が一部を負担して区道の電柱を撤去した。

無電柱化の目的は共著の小池先生（現都知事）によると「通行空間の安全性と快適性」。歩道の有効幅員を広げて車椅子でも乳母車でも安全に通れるようにする。もう一つは1995年の阪神・淡路大震災で倒壊した電柱による避難路閉鎖と救助・救援の妨害。もちろん、景観も大事な要素です。

品川図書館隣の荏原神社の寒緋桜も満開を少し通り越し、地面をピンクに添えていました。恵比寿様も寒緋桜

もやはり電線のないすっきりしている方が幸せ気分になれますね。



【参考図書】

「無電柱化革命—街の景観が一新し、安全性が高まる」
2015年7月29日第1版
著者：小池百合子、松原隆一郎、 発行所：PHP新書

平成30年2月12日
環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年02月18日

桃・栗3年、柿8年、柚子の大馬鹿20年

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年02月21日

庭に甘夏・柚子・金柑があり、たわわとはいかないまでも毎冬、香りとさわやかな味を届けてくれる。毎年、柚子は「ゆずみそ」にして食していたが、今年は一品増えた。友人に教えてもらい「はちみつ漬け」を作っている。皮が柔らかく、いくらでも食べられ、柚子茶にしても美味である。すっかりハマって、最近空きビンに作りおきし、友人知人に召し上がっていただいている。高齢者の方達の中にはリピーターも増え、喜ばしい限りである。

農研機構上級研究員の清水徳朗氏は、ゲノム（全遺伝情報）を解析し、スダチとカボスは長年親子と考えられていたが、異母兄弟でいずれも父親は柚子だという。

柚子は実生（みしょう：種から育てること）だと、実が成るまでに長くかかるので、生育の早い日向夏の親であるタチバナに接ぎ木をするようだ。我が家の柚子の根元には、タチバナの長く元気なトゲが出ている。この勢いが強いと柚子が弱るので切り落としている。

「桃・栗3年、柿8年」とは、実がなるまでに長い年月を待たねばならないことから、何事も成し遂げるまでには相応の年月がかかることを言うが、その続きがある。それは「・・・柚子の大馬鹿20年（注）」。

（注）「18年」と書かれたものもある。

今日のスーパーのチラシに柑橘まつりの写真がある。まだまだ楽しめる！

下の写真は、ゆずの根本から出してきたタチバナの枝です。



平成30年2月10日

環境記者 高塚純江

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年02月21日

気になる温暖化と家庭ゴミ

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年02月26日

都内マンションの管理人をしています。清掃も兼務なので家庭ゴミも取扱い、回収場所に出しています。可燃ゴミとして捨てられるゴミの中に、結構多くの資源ゴミが含まれていて、これで良いのかなと感じています。それ以外の集積場所のゴミも気になって見てみると、結構ひどい状態で捨てられています。これでは回収する人がかわいそうと感じるほどのものも有りました。

最近、三浦半島、房総半島で、昔の図鑑では紀伊半島以南に棲息するという貝が集団で発生して来ています。毎年同じ貝ではないですが、種類を変えながら何かしらの種類が見られる様になって来て、温暖化が徐々に進んで来ているのを感じます。まだ、暫定的な現れ方だと思いますが、今後どうなるのか心配しています。排出される家庭ゴミと、海の貝の観察の両方をやっているため、余計に強く感じられてしまうのかも知れません。

ちなみに京浜運河の42年間の観察では、温暖化に関する貝は下の写真の貝1種のみです。2012年8月に京浜運河の中で見つかったヒメウズラガイです。三浦半島の小網代湾でもこの年ヒメウズラタマキビが多く見られたとの事です。通常は紀伊半島以南に棲む貝ですがこの一部が湾奥まで来て育ちました。



平成30年2月21日

環境記者 青野 良平

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年02月26日

聖蹟公園、最近きれいな公園になってきました。

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月06日

■聖蹟公園清掃美化活動実施報告

2018年2月27日 8:30-8:45

聖蹟公園の清掃美化活動を行いました。

先週のような寒さがない比較的穏やかな朝、花壇周辺の清掃と草花の水やりを行いました。

雨などで中止になり2カ月ぶりの活動です。

東京サラヤ本社より有志を募り3名が参加しました。



■感想

2, 3年前までは公園全体に吸殻やごみがあり、園内の屑かごには弁当空が溢れ、汚いイメージの公園でしたが、清掃活動の甲斐あって吸殻のポイ捨てなども減りきれいな公園になってきました。また、品川フラワーレンジャー以外にも清掃を取り組んでいる団体、個人があるようです。

平成30年2月28日

環境記者 小野 文義

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月06日

生ごみコンポストを始めて半年が経ちました

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月06日

昨年の夏、ダンボールコンポストを始めました。

その時のレポートは下記に掲載されています。

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3077>

ダンボールコンポストとは、家庭から出る生ごみを「基材」の入ったダンボール箱の中に入れ混ぜると微生物が生ごみを分解し、堆肥にしてくれるという、自然の力だけに頼った生ごみ処理方法です。

生ごみコンポストを初めて半年が経ち、これまでで50kgの生ごみを堆肥化させることに成功しました。早速出来た生ごみ堆肥を使い、去年12月からベランダで花（ビオラとスイートアリッサム）と野菜（水菜とほうれん草）を育てています。



（左上）買った当初の様子

（右上）ご覧の通り、所狭しとたくさんの花が咲いています。

先日、間引きしたほうれん草を胡麻和えにいただきましたが、すごく美味しかったです。無農薬で栄養満点！



普段捨てている玉子の殻や野菜の皮などの厨芥（チュウカイ／台所から出るはミネラルが多く含まれています。それらを堆肥にすると、野菜や花が元気に大きく育つそうです。

半年で50kgの生ごみを処理したので、単純計算すると1年で100kgの生ごみを処分することになります。この取り組みをたった10世帯で行った場合、なんと年間1tのごみを減量したこととなります。100世帯で行うと100t！！

生ごみは「ごみ」ではなく、もはや資源ですね。こんなことを想像したら、生ごみを可燃ごみに出せなくなってしまうかもしれません。一人でも多くの方に知っていただきたいです。

平成30年2月26日

カテゴリ : 平成29年度

投稿日 : 2018年03月06日

しながわ区民公園【梅花だより】

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月06日

品川駅付近への外出時は、京浜急行を利用します。
最寄り駅は大森海岸駅、一つ先の立会川駅まで区民公園を散策しながら歩きます。
2月28日（水）気温15℃ 良い天気です！
しながわ区民公園内は改修工事中で、迂回路になっています。



梅園も工事用フェンスで仕切られています。
工事前は25種類130本余りのウメの木があったようです。



散策小路ができており、近くで花を愛でることができます。

【豊後】 薄紅色で一重、三分咲きこれからが見頃です。



【薄色縮緬】 一重で蕾の内はピンク開花すると白に。満開！



【白加賀】一重の白 青空なら白が際立つのですが・・・。



【八重寒紅】 花弁数が多く紅色が際立ちます。



それぞれ開花時期が違うため、まだまだ香りと可愛い花が楽しめそうです。

平成30年2月28日

眞壁美枝子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月06日

春はどこまで・・・

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月06日

日本列島の各地で春一番が吹き、大暴れをした春の嵐でしたが、今日（3/2）は朝から青空が広がり、暖かな春を感じました。ぽかぽか陽気に誘われ歩いてみると、八潮団地内の白梅・紅梅はもう満開を迎え、青空に映えていました。



久しぶりに京浜運河へ足をのぼしてみると、早咲きの桜も満開で、小鳥たちが花の中でちゅ・ちゅ・ちゅと鳴きながら、蜜を吸っているのでしょうか・・・？ カメラを向けると逃げていってしまいました。運河の水面も春の日差しにキラキラと輝き、運河で遊ぶ鳥たちも大きな弧を描きながら、波で遊んだり、潜ってエサを取ったりしながら、暖かな春の日差しを楽しんでいるのでしょうか・・・。



また、花海道の菜の花はこれから咲く花もありましたが、一面を黄色の絵の具を流したように咲きそろい、「しながわ花海道」の旗と共に春を楽しんでいるかのように風に揺れていました。



気象予報ではあと20日程で開花するという今年の桜ですが、枝先のつぼみは硬く、開花までは時間がかかるようでしたよ・・・。お花見が楽しみです。花粉がたくさん飛んでいるので、鼻水をながし・ながし、青空の下、川面を渡る風に吹かれながら、のんびりと小さな春を探して楽しみました。

平成30年3月4日
環境記者 石田雅子

カテゴリ: 平成29年度

投稿日: 2018年03月06日

第34回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会, 平成29年度

投稿日：2018年03月22日

平成30年3月7日(水)に、第34回環境記者情報交換会を開催しました。今年度最後の会合となります。環境記者の皆さんに、日頃の活動の様子や、興味を持っていらっしゃる事柄についてご報告いただきました。

マンションの管理に関わっていらっしゃる記者さんから、マンションの家庭ゴミの分類が徹底していない現状と改善へのご苦労について報告がありました。ゴミの分類は、どなたにとっても身近で関心の高い話題で、皆さんがそれぞれの経験を話されて盛り上がりました。ゴミ処理工場見学の話も出ました。

ボランティアで地域の花壇整備と歩道清掃をしている方からは、地元の中学校の生徒とともにいった花壇の植替え作業の様子や、緑道内へのゴミの不法投棄の問題などについてお話いただきました。街が汚れてくるとゴミを捨てることに罪悪感がなくなり、周辺を気にすることなくポイ捨てをする人が出てきます。一人ひとりが関心を持ち、ゴミを減らすことを心掛けて街をきれいにしたいと、おっしゃっていました。

貝の生態の観察からわかる地球温暖化の傾向（本来紀伊半島以南にいる貝を関東で発見した）、東京五輪に際して進められている無電柱化、化学肥料を使わない有機野菜作り、公園や街角で出会う自然の様子、など、今回も和気あいあいとした和やかな雰囲気の中、様々な話題を通じて環境について考えました。

もうすぐ桜の季節を迎えます。例年通り、記者の皆さんに、身近で見られる桜の開花の様子をレポートして下さるようお願いしました。

環境情報活動センターのホームページに環境記者さんが投稿して下さった記事が掲載されています。よろしかったらご覧になってください。

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?cat=17>

区民の皆さまにお気軽に環境記者活動に参加していただけたら幸いです。

カテゴリ：◆情報交換会, 平成29年度

投稿日：2018年03月22日

八潮花図鑑～3月～

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月27日





17日に東京・靖国神社の桜が開花しました。本日21日春分の日には東京近郊でも山沿いの地域では雪が降ったそうです。お花見の季節を目前に控えた八潮では、小さい道端の花、樹の芽の膨らみ、そして杏・桃の花が咲き始めました。ソメイヨシノはまだ1～2部咲きですが、八潮図書館の近くのしだれ桜は6部咲きでした。

平成30年3月21日
環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月27日

青物横丁駅商店街の一本桜

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月30日

今年も沢山の花を付けて歩道を歩く人の心を楽しませてくれているようです。

こういった、単独で道路際に咲く桜を「野良桜」と言うそうです。

(注) ある写真家が、東京23区の片隅でけなげに一本だけ咲く桜を「野良桜」と命名したとの記事がありました。

(注：東京新聞3月21日)

よく観察すると品川区内にも結構単独で咲いている桜に気が付きました。

写真は咲き始めた翌日で雪の降った日と、満開になった時の写真です。

わずか4日で！と驚くばかり。自然は正直ですね。



2018.3.21 撮影



2018.3.25 撮影

平成30年3月26日

環境記者 青野 良平

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月30日

品川区立八ツ山公園の桜

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月30日

品川駅からインターシティを抜けての歩道橋から



夕方から夜桜見物かねた宴会場になるのかな？



あともう少しで満開です。



2018.3.26.8:30撮影

平成30年3月26日

環境記者 小野 文義

カテゴリ: 平成29年度

投稿日: 2018年03月30日

桜：しながわ区民公園～しながわ花海道（勝島運河）

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月30日

東京は3月17日開花宣言！一週間あまりで満開！

毎年桜の季節になると「日本人で良かったな～」と思う人も少なくないはずですよ。

散らないうちにお花見しようと、しながわ区民公園～勝島運河「しながわ花海道」を散策しました。



「桜広場」

子どもたちも桜の下で春休み満喫！
今週末頃まではブルーシートの花が
咲きそうですね。



しながわ水族館周辺の桜

見晴らし台の桜は満開間近です。
この場所はボランティア仲間で花見を
する所ですが、今年は葉桜の下で
「花よりだんご」の会となりそうです。



しながわ水族館池周辺の桜

桜の淡いピンクと花桃の濃いピンクの
コントラストが素晴らしいです。



旧東海道にある立会川「なみだ橋」から
桜と京浜急行の赤い電車が撮れました。



勝島運河「立会川河口堤防船だまり」
しながわ百景に選ばれている場所です。
通称：しながわ花海道
今年は桜の開花が早いので、菜の花と
桜を同時に楽しむことができました。



対岸にも桜や花畑があり、ベンチに休み
ながら花眺めることができます。

平成30年3月26日撮影
真壁美枝子

カテゴリ: 平成29年度

投稿日: 2018年03月30日

▲環境情報活動センター
トップページへ戻る

みんなのエコ広場

環境学習講座 ※終了

過去の講座を紹介します

ECOトピックス

おすすめ情報

区民環境記者レポート

◆環境記者について*募集終了

◆情報交換会

令和3年度

令和2年度

令和元年度

平成30年度

平成29年度

平成28年度

平成27年度

平成26年度

平成25年度

平成24年度

平成23年度

平成22年度

平成21年度

平成20年度

平成19年度

平成18年度

リサイクルショップリボン

区民環境記者レポート

記者の募集は終了いたしました。レポートの閲覧は令和4年6月までとなっております。以降、一部の情報は品川区環境課のHPにてアーカイブとして閲覧可能となる予定です。（[区民環境記者レポートのトップへ戻る](#)）

« 桜：しながわ区民公園～しながわ花海道（勝島運河）
» 咲いた・咲いた 桜が咲いた！！

第一京浜沿いの「見事な枝垂桜」

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月30日

3月28日（水）大森海岸から立会川まで歩いたのですが、国道15号線（第一京浜）品川方面に向かう側道に「見事な枝垂桜」を見つけました。あまりにも見事なので、ご紹介したくなりました。

鈴ヶ森処刑場大経寺の反対側で京浜急行の高架下になります。最初見つけたときは、1本の木！？ 23本の木がー列に並んでおります。

しかし、3月下旬の時期外れの高温もあり、この記事が皆様の目に触れる時にはと考えると、ちょっと寂しいですが。



H29年3月29日

環境記者 真壁美枝子



リンク

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月30日

このブログを購読する

当サイトはSSL対応です



« 桜：しながわ区民公園～しながわ花海道（勝島運河）
» 咲いた・咲いた 桜が咲いた！！

当サイトでは、お客様の個人情報に係わる通信に、SSL暗号化技術を使用しております。詳細は、上の画像をクリックしてご確認ください。

咲いた・咲いた 桜が咲いた！！

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月30日

穏やかな春空が続き、満開を迎えた八潮団地の桜を楽しみながら歩いてみました。
枝いっぱいにもごとに咲きそろい、青空に映えていました。



今年も咲き競うソメイヨシノ。満開を迎えた八潮団地の桜たちをご紹介します。



平成30年3月30日

環境記者 石田雅子

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月30日